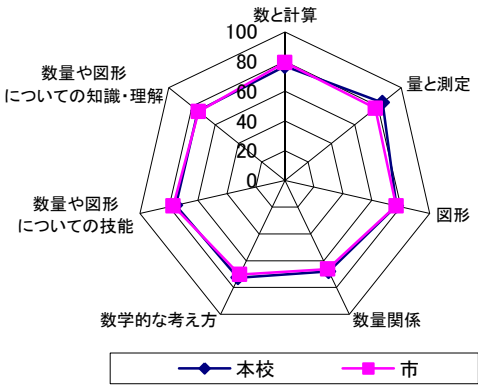


宇都宮市立上河内西小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	76.9	79.4
	量と測定	84.0	77.9
	図形	77.0	76.8
	数量関係	68.0	66.2
観点別	数学的な考え方	72.7	70.2
	数量や図形についての技能	75.4	77.1
	数量や図形についての知識・理解	74.9	74.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	数と計算の設問では、市の正答率を下回った。計算問題では正答率が高かったが、文章を読んで、自分で式をたてて計算する設問の正答率が低かった。	文章問題では、文章をよく読み、何を問われているのかに気を付けながら、加減乗除のどの式をたてるのが適切か、考えながら問題を解くことができるように指導をしていく。
量と測定	量と測定の設問では、市の正答率を上回った。分度器を使って角度を測る設問や複合図形の面積を求める設問は、市の平均を大きく上回っていた。しかし、180度以上の角度を求める設問では、市の平均を下回った。	角度を測る問題では、180度以下の角度を分度器で測るだけでなく、計算から角度を求めるような問題、特に角度が180度以上になる問題に取り組むことができるようにしていく。
図形	図形の設問では、市の正答率を上回った。円の半径を求める設問や、二等辺三角形の角度については市の平均を上回った。しかし、作図や応用問題は、市の平均を下回った。	図形では、それぞれの図形の作図の方法を再度確認して、作図に取り組むことができるようにしていく。また、基本的な問題だけでなく、図形を使った応用問題にも多く取り組むことができるようにしていく。
数量関係	数量関係の設問では、市の正答率を上回った。特に、折れ線グラフや二次元表の読み方は、市の正答率を大きく上回った。また、グラフをもとにした設問も、市の正答率を上回った。	折れ線グラフや二次元表では、グラフや表をもとにした問題に今後も取り組めることができるようにしていく。